

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/6)

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	高 石 浩 一
学歴	昭和57年 3月 京都大学教育学部教育心理学科 卒業 昭和60年 3月 京都大学大学院教育学研究科 (修士課程) 教育方法学専攻 修了 昭和63年 3月 京都大学大学院教育学研究科 (博士課程) 教育方法学専攻 単位取得満期退学				
学位	昭和60年 3月 教育学修士 (京都大学)				
専門分野	臨床心理学				
専門資格	臨床心理士 (562号)				
所属学会	昭和58年 5月 日本教育心理学会 昭和58年 9月 日本芸術療法学会 昭和60年 4月 日本心理臨床学会 昭和62年 5月 日本精神分析学会 昭和63年 4月 日本心理学会 平成 3年 4月 日本学生相談学会 平成 9年10月 日本病跡学会 平成12年 4月 日本箱庭療法学会 平成14年 5月 多文化間精神医学会 平成25年 2月 GID (性同一性障害) 学会				
受賞					
担当 授業科目	学 部 心理学概論、臨床心理学基礎演習、臨床心理学研究法演習Ⅰ、臨床心理学総合演習Ⅰ、 臨床心理学実践演習 (グループアプローチ1)、心理療法学、臨床コミュニケーション論 ----- 大学院 学校臨床心理学特論、遊戯療法特論、心理療法特演Ⅰ-A、Ⅱ-A、臨床心理応用研究A				
論文指導	論文指導担当 [主査] (卒論 : 18名、修士論文 : 4名) 論文審査担当 [副査] (卒論 : 1名、修士論文 : 2名)				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
	心理学概論	講義・演習・実習・実験	春・秋	約 235 名	
1	授業の概要 : 心理学の諸領域を概説する (筆者担当は前半、歴史、認知、神経心理学領域) 。 教育活動の振り返り : 毎回の振り返りシートにより理解度把握を行うと共に、毎回、前回授業への質問の回答を授業開始時に行った。 教育活動の成果 : 一回生全員必修の授業にもかかわらず、満足度は高かった。 今後の課題 : 前後半の授業内の調整、新規内容を常に取り入れ、授業内容の更新を図ること。				
	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
2	臨床心理学実践演習 (グループアプローチ1)	講義・演習・実習・実験	春・秋	約 30 名	
授業の概要 一泊二日の学外におけるグループアプローチ体験。					

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/6)

<p>教育 FD 実績 活動 つぎ</p>	<p>教育活動の振り返り： 毎回体験終了時に振り返りのアンケートを行った。</p> <p>2 教育活動の成果： 満足度は春・秋共に非常に高かった。</p> <p>今後の課題： グループアプローチ内容の充実と、相対的な教員の体力低下。</p> <hr/> <p>・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 特になし。</p> <hr/> <p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 正規授業時間外における学生指導（大学院におけるアセスメント研究会 など）</p>
<p>H26 年度 研究課題</p>	<p>1. 情報工学と心理臨床（ロボット研究） 2. セクシュアルマイノリティの心理臨床 3. プレイセラピーの研究 4. インターネットと心理臨床</p>
<p>平成 二六 (2014) 年度 の 研究 活動 の 概要</p>	<p>1. については、大学院生とのロボット研究会の継続と共に、最終年度にあたる人間学研究所共同研究「ロボット・人間学研究」の総括として、平成27（2015）年2月25日に本学において共同研究者である本学教授永澤哲氏、および龍谷大学教授野村竜也氏と共にシンポジウムを開催した。</p> <p>2. については、年来の懸案であったGID関連図書の翻訳が終了し、平成27年度出版に向けて本学の研究成果刊行助成に申請、その後交付決定となった。また、セクマイ（セクシャルマイノリティ）事例検討会講師も行った。</p> <p>3. については、現在行われている発達障害関連のアセスメント検査を検討し、その有効性と限界を検討し始めている。またその成果を、逐次大学院科目の「遊戯療法特論」にて報告し、近い将来総括的な報告を期している。</p> <p>4. については、産業カウンセリング領域、教育委員会関連、電話相談関連といった各団体の研修講師として、その時々テーマを取り上げ、吟味検討した。</p>
<p>平成 二六 (2014) 年度 の 主な 研究 成果 等</p>	<p>（著書） 1. 「コラム ニュータウンと引きこもり」、共著（当該部分担当）、平成27年3月、昭和堂、杉本星子・小林大祐・西川祐子編、『京都発！ニュータウンの「夢」建てなおします 向島からの挑戦』（pp.148-150）</p> <hr/> <p>（論文）</p> <p>（学会報告、学会活動）</p> <p>（その他、エッセイ・翻訳・学術講演等） 講演等： 1. 「セクシュアルマイノリティの心理的支援 若者支援の基礎知識と実践」、単独、平成26年8月、心理的支援の事例検討会 思春期/青年期のセクシュアルマイノリティ（ケースコメント）、宝塚大学看護学部 大阪梅田キャンパス 502 教室 2. 「第15回 不登校フォーラム 登校ごとと子どもの対人コミュニケーション」（パネリスト）、平成26年11月、京都市教育相談センター こどもパトナ） 3. 「今、育ちを考える 米国版 IEP（個別的教育支援計画）から見た特別支援」（シンポジスト）、平成26年11月、京都文教大学心理臨床センター・大学院研究科共催、京都文教大学</p> <hr/> <p>（調査活動）</p> <p>（学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含）</p> <hr/> <p>（学内活動） 入試委員、「人を対象とする研究」倫理審査委員会委員</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/6)

<p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p>	<p>(NPO法人等の団体への参画) ・「一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会あしたね」顧問「平21.8より」</p> <p>(小中高との連携授業の講師) 平成26年 6月 京都文教高等学校ALP「新しい臨床心理学」、於：同校 平成26年10月 滋賀県立甲西高等学校模擬授業「心理学と臨床心理学」、於：同校</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師) 平成26年 7月 神戸女学院大学院宿泊事例検討会、「事例検討」、於：ホテル新大阪 平成27年 1月 1. 子どもフレンドリーネット神戸 聞き手養成研修会、「SNSの現状と課題 ネット いじめやLINEの問題」、於：神戸市青少年会館 2. 宇治市教育委員会 第3回事例研究セミナー(指導助言者)「小学校における事例」、於：宇治市青少年指導センター</p>
<p>平成二十一(2009)～二十五(2013)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書) 1. 「身体感覚を通して顕わになる転移」、共著、平成21年9月、創元社、伊藤良子・大山泰宏・角野善宏編、京大心理臨床シリーズ9 心理臨床関係における身体 (pp.41-48) 2. 「第2章 知能・発達検査の倫理」「第7章 聞き取り検査」、共著、平成23年3月、培風館、共編者：川畑隆・大島剛、『心理学実習 応用編 1 知能・発達検査実習 新版K式を中心に』(pp.8-15, 89-96) 3. 「第16章 専門家の壁!？」、共著、平成23年5月、日本評論社、飯森眞喜雄・宮川香織編、『カウンセリングと心理療法 その微妙な関係』(pp.154-163) 4. 「ケータイ・ネット時代の臨床心理学 改め河合隼雄が本当に言いたかったこと」、共著、平成23年8月、創元社、四天王寺監修、『四天王寺カウンセリング講座10』(pp.77-104) 5. 「第13章 学生相談」、共著、平成24年8月、創元社、村山正治・滝口俊子編著、『現場で役立つスクールカウンセリングの実際』(pp.217-233)</p> <p>(論文) 1. 「パーソナリティ障害への支援 学生相談場面において」、単著、金剛出版、平成21年7月、臨床心理学第9巻4号 (pp.505-511) 2. 「ユングアンの考え方を学校に生かす」、単著、遠見書房、平成21年8月、子どもの心と学校臨床第1号 (pp.69-77) 3. 「大学生と発達障害」、単著、日本評論社、平成21年10月、そだちの科学通巻13号 (pp.106-110) 4. 「母親面接をめぐる覚え書き」、単著、平成22年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第2集 (pp.13-23) 5. 「プレイセラピーの治療的展開に関する覚え書き」、単著、平成23年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第3集 (pp.3-15) 6. 「インテーク・カンファレンスに関する覚え書き」、単著、平成23年3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第13号 (pp.17-30) 7. 「河合隼雄と鶴見和子 1992年から1994年の関わり」、単著、平成23年3月、京都文教大学人間学研究所 人間学研究Vol.11 (pp.71-95) 8. 「サンフランシスコにおけるキャリア教育と心理臨床活動」、共著、平成24年3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第14号 (pp.33-42) 9. 「二つのマンダラ論 河合隼雄と鶴見和子の出会いを通して」、単著、平成24年3月、京都文教大学人間学研究所 人間学研究Vol.12 (pp.1-18) 10. 「カリフォルニアにおけるLGBTQ教育、キャリア教育の実態」(報告)、共著、平成25年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第5集 (pp.103-112) 11. 「ケースの引継ぎについての覚書」、単著、平成25年 3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第15号 (pp.39-49)</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/6)

(論文 つづき)

12. 「「終結」についての覚え書き」, 単著、平成26年3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第16号 (pp.105-120)

(学会報告、学会活動)

1. 「難病相談支援センターアンケート報告 Q&A集作成に向けて」, 共同、平成22年1月、厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の自立支援態勢の確立に関する研究」平成21年度研究報告会、都市センターホテル
2. 「ボランティアが特定疾患患者と初めて出会う時 心的変化と支援者支援」, 共同、平成23年1月、厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の自立支援態勢の確立に関する研究」平成22年度研究報告会、連名発表者：風呂井たみ、京都文教大学
3. 「同性愛の心理臨床について考える その9」(指定討論) 平成23年9月、日本心理臨床学会第30回大会、九州大学
4. 学会企画シンポジウム「『遊戯療法家を育てる』 教育と訓練をめぐって 「遊戯療法の講義・実習の工夫」」(シンポジスト) 平成25年6月、日本遊戯療法学会第19回大会、京都文教大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

エッセイ等：

1. 「河合隼雄未来を語る 院生たちとの対話」, 単著、平成22年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第2集 (pp.7-8)
2. 「河合隼雄を語る 日本文化と心理臨床における貢献」, 単著、平成22年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第2集 (pp.9-10)
3. 「河合隼雄・鶴見和子と京都文教 その宗教性をめぐって」, 単著、平成22年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第2集 (pp.10-11)
4. 「空気を読む時代の共感を考える」, 単著、平成22年6月、金子書房、児童心理第916号 (pp.24-30)
5. 「クラスを「居場所」と思えない子どもたち」, 単著、平成23年8月、金子書房、児童心理第935号 (pp.30-35)
6. 「私の伏流水」, 単著、平成23年4月、培風館、大学用図書目録20 (p.1)
7. 「裏表のある子の心理」, 単著、平成24年4月、金子書房、『児童心理』第947号 (pp.11-18)
8. 「風が吹くとき」, 「岸辺のふたり」, 単著、平成24年8月、福村出版、『子育て支援と心理臨床』増刊第1号 (p.104, 105)
9. 「相手の反感を買いたくない」, 単著、平成24年12月、金子書房、『児童心理』第959号 (pp.11-18)
10. 共同研究プロジェクト報告「ロボット・人間学研究 情報工学と人間学の接点を探る」, 共著、平成26年3月、共著者：永澤哲、京都文教大学人間学研究所 人間学研究Vol.14 (pp.93-95)
11. 「安齋論文を読んで」, 単著、平成26年3月、神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室 心理相談研究第15号 (pp.93-96)
12. 「学校教育と心理臨床 スクールカウンセラーに求められるもの」, 単著、平成26年3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第16号 (pp.99-104)

視聴覚教材：

1. 「児童生徒理解 ～思春期の子ども心とネット社会～ (55分)」, 単独、平成21年10月、三重県教育委員会、三重県総合教育センターネットDE研修教材 (55分)
2. 「発達障害学生への支援について」(講師) 平成21年11月、障害のある学生支援に関する担当者会議、キャンパスプラザ京都
3. 「学生相談の実際 ネット対応をめぐって」, 単独、平成22年6月、近畿学生相談研究会第136回例会第2部会、京都府立大学
4. 「河合隼雄と鶴見和子 曼荼羅とマンダラ」(研究会講師) 平成23年2月、京都文教大学人間学研究所主催、京都文教大学

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/6)

<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等</p>	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)</p> <p>5. 「若者を取りまく社会問題 (XII) —マンガなどのサブカルチャーから探る若者心理—」(講師)、単独、平成23年11月、第49回全国学生相談研修会、東京国際フォーラム</p> <p>報告:</p> <p>1. 「攻殻機動隊をめぐる冒険」、単著、平成25年3月、共同研究プロジェクト「ロボット・人間学研究 情報工学と人間学の接点を探る」研究会報告、京都文教大学人間学研究所 人間学研究 Vol.13 (pp.41-46)</p>
	<p>(調査活動)</p> <p>平成23年 8月 キャリア教育と心理臨床活動の調査 (於: サンフランシスコ)</p> <p>平成24年 9月 LGBTとキャリア教育の調査 (於: サンフランシスコ)</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成20年度-平成22年度</p> <p>厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」</p>
	<p>(学内活動)</p> <p>平成14年 4月 大学運営会議委員「平25.3まで」 学生相談室運営委員会委員「現在に至る」</p> <p>平成15年 4月 自己点検・評価委員会委員「平25.3まで」</p> <p>平成17年 4月 学生相談室長「平25.7まで」</p> <p>平成18年 4月 人間学研究所所員「現在に至る」</p> <p>平成21年 4月 大学教学会議委員「平22.3まで」 自己点検・大学院委員会委員「平22.3まで」 危機管理委員会委員「平22.3まで」</p>
<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成16年 4月 神戸市スクールカウンセラー「平22.3まで」</p> <p>平成22年11月 平成22年度教員免許状更新講習「メディア環境の下での生徒指導と教育相談」、於: 京都文教大学</p> <p>平成23年 7月 平成23年度教員免許状更新講習「メディア環境の下での生徒指導と教育相談」、於: 京都文教大学</p>
	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成21年 8月 「一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会あしたね」顧問「現在に至る」</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成21年 9月 富士通メンタルヘルスセミナー「うつ病への対策と予防」、於: 富士通関西システムラボラトリ</p> <p>平成21年11月 平成21年度三児童相談所合同心理判定員レベルアップ研修会「パーソナリティ障害について」、於: 京都市児童相談所</p> <p>平成21年12月 神戸市立神戸工科高等学校人権研修会「気になる生徒の支援について」、於: 神戸市立神戸工科高等学校</p> <p>平成22年 6月</p> <ol style="list-style-type: none"> 第45回四天王寺カウンセリング研修講座「ケータイ・ネット時代の臨床心理学 河合隼雄が本当に言いたかったこと」、於: 四天王寺学園講堂和光館 第14回上宮中学校・高等学校保護者・教職員のための勉強会「メディアの中に生きる子どもたち」、於: 上宮高等学校講堂

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/6)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動

(自治体や企業における研修等の講師 つづき)

- 平成22年 7月 こども相談センターパトナ研修会「ケータイ、ネット時代の子ども心の理解と対応」於：京都市教育相談総合センター
- 平成22年10月 平成22年度教育課題別研修講座 教育相談 「『現代の子どもたち』 ネット社会を通して考える」於：吹田市立教育センター
- 平成23年 2月 1. 兵庫県立工科高校人権研修・特別支援教育合同研修「読字障害を持つ生徒への支援」於：神戸市立工科高等学校
- 平成23年 2月 2. 宇治市子ども若者支援地域協議会体制準備モデル事業第5回定例会議・YA養成講習会「不登校・引きこもりのできるわけ その後の事情」於：宇治市青少年指導センター
- 平成23年 6月 パトナ研修会「携帯・情報と心の間 なぜ若者は依存するのか」於：京都市教育センターパトナ
- 平成23年 7月 日野町子育て・教育相談センター・竜王町ふれあい相談発達支援センター主催：心理臨床家のための自主研修会「うつ病の治療ポイント 心理療法と薬とネグレクト」於：日野町公民館
- 平成23年 8月 成安造形大学FD研修「多様化する学生への支援について」於：成安造形大学
- 平成23年11月 同志社国際中学・高校保護者会「メディア環境の下での家庭教育」於：同志社女子大学チャペル
- 平成24年 6月 1. 児童養護施設「京都大和の家」職員研修、「反応性愛着障害について」
2. 兵庫県私学連合会 学校カウンセリング研究会 カウンセリング研修会講師、「ケータイ・ネット時代のカウンセリング」
- 平成25年 3月 一般社団法人子ども・青少年育成支援協会 あすはな勉強会講師、「発達障害について 発達障害概念の時代的変遷と生涯発達の視点から見た発達障害」於：福島区民センター（大阪）
- 平成26年 3月 産業カウンセラー協会関西支部研修会、「人とネットの心理学 ネット時代の実態と動向」於：京都テルサ

(その他)

- 平成21年 7月 1. 思春期講座「ネット・ケータイ社会での人間関係の築き方」於：宇治市生涯学習センター
2. 男女共同参画基礎講座「母を支えた娘たち 娘たちの行方」於：ゆめりあうじ
- 平成22年11月 香川県立三木高等学校情報モラル教育「インターネット時代の臨床心理学」於：香川県立三木高等学校講堂
- 平成24年 5月 立教大学全学共通カリキュラム「社会人への階段」講師、「インターネットに潜む危険」